

## 第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウム・取材要項

12月15日から17日の日程で、第7回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウムを開催します。15日(水)は13:30から開会の挨拶、北里大学の養老孟司氏による「ホルモンのはたらき」と題した特別講演、行政、研究者の取組の現状の紹介、「環境ホルモン問題をどう伝えていきますか。」と題したパネルディスカッション(司会:室山哲也NHK解説委員)を行います。

### 1. シンポジウムの概要

#### (1) 開催日時、目的等

日時: 2004年12月15日(水)~17日(金)

場所: 名古屋国際会議場

主催: 環境省

後援: 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市

協力: 日本内分泌攪乱化学物質学会

開催目的:

内分泌攪乱化学物質問題について、世界各国から第一線で活躍中の研究者をお招きし、主に以下の3点をねらいとした議論を行います。

我が国をはじめとする、世界各国の内分泌攪乱化学物質問題への取組状況について、情報を共有すること

国際的な連携・協調により進められている内分泌攪乱化学物質問題の研究の方向性について議論すること

身近な問題であると同時に、地球規模の問題でもある化学物質への対応について、各方面の関係者による多面的な意見交換を行うこと

#### (2) プログラムについて

本シンポジウムは2部構成となっており、15日(水)は、一般向けのプログラムとして、「特別講演」、「取組の現状」及び「パネルディスカッション」を予定しています。

16日(木)・17日(金)の2日間は研究者を対象としたプログラムとして、専門的な内容について科学的な議論を深めることを目的としたセッションを開催します。

プログラム・アブストラクトは

<http://www.env.go.jp/chemi/end/sympo2004jp.html>からご覧いただけます。

### 2. シンポジウム取材要領

本シンポジウムの取材については、以下の要領にてお願いします。

#### (1) シンポジウムの受付

シンポジウム本会場(1号館1階「センチュリーホール」)での取材の際は、会場2階受付にてご登録の上、バッジをお受け取り下さい。このバッジは貴社の腕章とともに必ず見える位置にお付けください。また、お帰りの際はその日ごとに必ず受付へバッジをご返却ください。

( 2 ) 取材範囲

本シンポジウムは取材可能です。ただし、大ホール内、講師控え室内など、講師やほかの出席者のご迷惑になるような取材はお断りします。悪しからずご了承ください。

( 3 ) プレス席 ( 別紙 1 )

大ホールには報道関係者席を用意しておりますので、そちらをご利用ください。報道関係者席が満席の場合は一般の客席をご利用ください。なお、スライド等の使用時はホール内が暗くなりますが、特段の照明等を用意しておりませんのでご了承下さい。

なお、都合によりプレス席の位置を変更する場合がありますので、シンポジウム当日、受付でお渡しする注意事項でプレス席の位置を念のためご確認下さい。

( 4 ) カメラ席 ( 別紙 1 )

大ホールでのハンディカメラの使用は、指定の位置より、1日目の冒頭挨拶、特別講演部分に限らせていただきます。セッションが始まる前に、固定カメラの位置に移動するか、速やかにご退場願います。

また、スライド上映中は、ストロボ、ライト等の使用をご遠慮ください。音声ラインは「オリジナル」のみ、電源は設けておりませんのでご容赦ください。

なお、シンポジウム当日に受付でお配りする注意事項にカメラ位置、フラッシュ撮影の時間帯などについても詳細を掲載致しますので、遵守願います。

( 5 ) 控室のご案内 ( 別紙 2 )

シンポジウム開催期間中は2号館2階「222会議室」をプレス控室としてご提供いたしますので、ご自由にお使いください。なお、電話回線は設けておりませんが、各階に公衆電話が設置されておりますのでご案内いたします。

( 6 ) ワイヤレスマイク ( 要確認 )

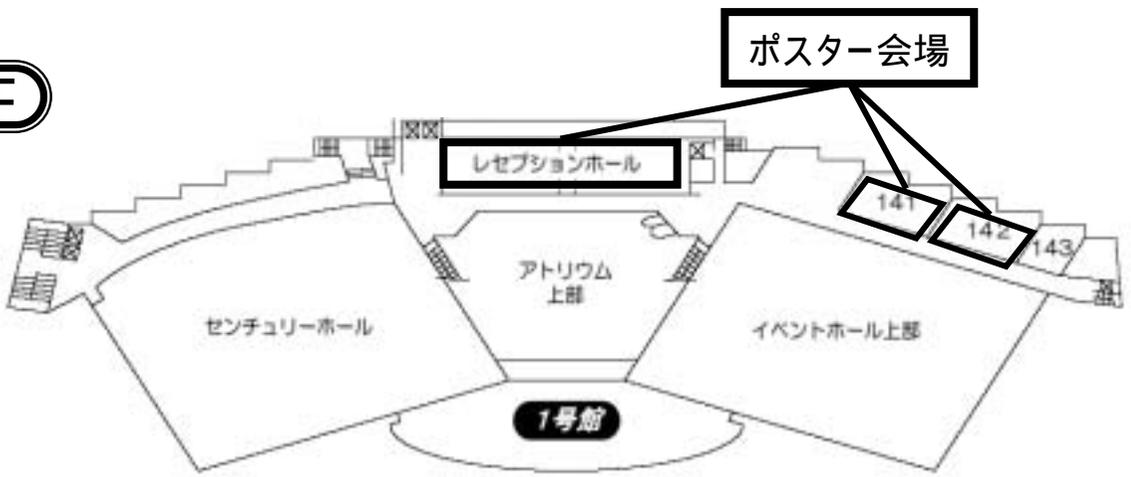
会場 ( 名古屋国際会議場 ) の都合により、会場内でのワイヤレスマイクの使用はできませんのでご了承ください。

以 上

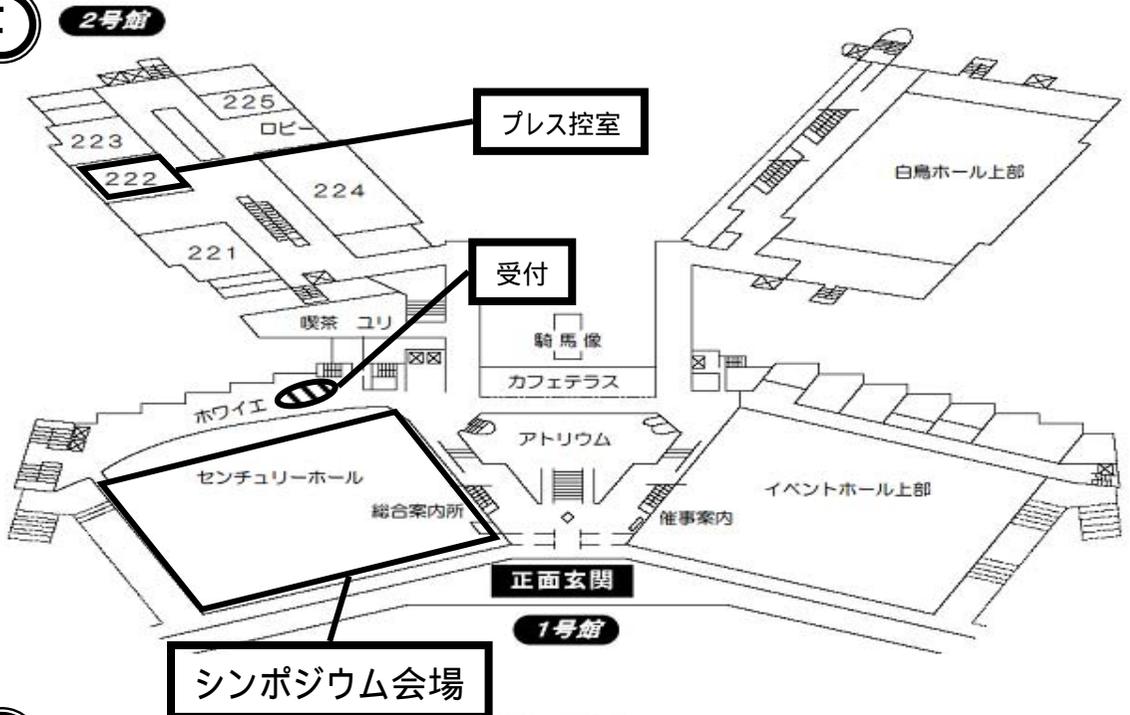
# センチュリーホール 1F座席表



4F



2F



1F

